

芸術選択について

筑波大学附属高等学校 芸術科

本校の第1学年の教育課程では、芸術2単位（毎週2時間学習）だけが選択必修です（他の教科はすべて必修科目で、学校の定めた教育課程にしたがって履修するので、選択の必要はありません）。そこで、下記の芸術科目の選択履修および内容に関する説明をよく読み、下記の入力フォームより必要事項を入力してください。（2月20日〆切）

[芸術選択等 確認フォーム \(google.com\)](#)

- (1) 芸術の4科目（音楽、美術、工芸、書道）のうちから、いずれか1科目を必ず選択して履修しなければなりません。
- (2) 第1学年で選択した芸術の科目は、第2学年でも引き続き同じ科目を履修します。
- (3) 第3学年では、芸術は自由選択となりますが、選択する場合には「音楽Ⅲ」「美術Ⅲ」「工芸Ⅲ」は第1、2学年でそれぞれ「音楽Ⅰ・Ⅱ」「美術Ⅰ・Ⅱ」「工芸Ⅰ・Ⅱ」を履修していなければなりません。なお、「書道Ⅲ」は開講していません。
- (4) 必ずしも第1希望の科目に決まるとは限りません。第2希望となる場合もあります。
書道と工芸には定員があります。第1希望で書道または工芸を選択した場合、第2希望は音楽または美術のいずれかから選択してください。第1希望で音楽または美術を選択した場合、第2希望で工芸、書道は選択できません。
- (5) 芸術選択について、自らの進路に関係するような特別な希望がある場合は、フォームに記入してください。
- (6) 芸術科目の学習の内容およびねらいは次の通りです。

【音楽】

- ◇表現 演奏実技（歌唱および器楽）、創作を通して、音楽の本質を体得する。
- ◇鑑賞 多くの鑑賞曲を通して、古今の音楽の文化遺産に触れる。
- ◇理論 実技に必要な基本的な楽典を学習する。

【美術】

- 基礎から現代美術までを、次の分野について表現と鑑賞の両面から学習する。
- 絵画、彫刻、デザイン、映像メディア表現、美術史など。

【工芸】

- 陶芸、木工、金工等での制作を通して、道具の扱い方や素材の特性に即した加工技術を体得し、素材への理解を深める。また、鑑賞により民藝やプロダクトデザインの考え方を学び、幅広く工芸を理解する。

【書道】

- ◇表現 書の古典にのっとり、実技を学習する。
- ◇理論 書の歴史を勉強し、芸術としての書の現代意義を考える。
- ◇鑑賞 古今の名筆を見ることにより、鑑賞眼を養う。
 - 漢字（篆・隸・楷・行・草書）、仮名、篆刻など。

以上